

# SBL 通信

第18号



2025年2月発行 仙台市危機管理局減災推進課

北海道・三陸沖後発地震注意情報 について 仙台市防災気象専門官 楠本 絵莉子

## 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 被害想定



- ・最大津波高 約30m
- ・最大死者約19万9000人
- ・低体温症で死亡のリスク

## 防災対策で死者は8割減らせる (取り組み事例)



津波から迅速な避難



津波避難ビル等を活用



寒さへの備えも万全に

監修：内閣府(防災担当)、気象庁

Yahoo! ニュース  
オリジナル

図1 北海道・三陸沖後発地震の被害想定



図2 日頃からの地震への備え 出典：内閣府ホームページ ([https://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/221017\\_poster.pdf](https://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/221017_poster.pdf))

2024年8月8日、運用開始以来、初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。この情報の発表期間中、関東から九州の各地で日頃からの地震への備えの再確認などが呼びかけられました。これは、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際に仙台市の皆さまに呼びかけられる内容と同じです。そこで、改めて北海道・三陸沖後発地震注意情報について確認しましょう。

## 北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら？

2011年の東日本大震災では、マグニチュード(以下 M と略す)9.0の本震の2日前にM7.3の地震が発生していました。北海道・三陸沖後発地震注意情報(2022年12月運用開始)とは、北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震想定区域やその周辺で M7.0以上の地震が発生し、大規模地震の発生可能性が平常時より高まっている際に発表される情報です。大規模地震発生時の被害は、早期避難等の防災対策を行うことで低減することができます(図1)。

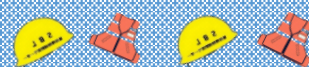
仙台市では、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された場合、杜の都防災Web、杜の都防災メール、本市LINE、ホームページ等で市民の皆様にお知らせします。発表から一週間、通常の生活を送りながら、地震への備えの再確認や、すぐに避難できる態勢の準備などを行ってください(図2)。

## 日頃からの地震の備えを忘れずに！

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されて1週間の間に大きな地震が発生しなくても、「空振り」と捉えず、防災意識の向上につなげる「素振り(練習)」と捉えましょう。また、巨大地震は何の前触れもなく発生する場合があります。**突発的に大きな地震が発生しても対処できるよう、日頃から地震への備えを徹底しましょう。**



## SBL 活動が教科書に載りました！！



宮城野区福住町町内会 防災部長 SBL 大内幸子さん(平成25年度認定)の防災活動が小学校教科書に掲載されました。開隆堂出版発行 文部科学省検定教科書 令和6年度「わたしたちの家庭科5・6」の130ページに仙台市地域防災リーダーの活動が掲載されています。仙台市内の小学校5年生に教科書として配布されていますので、もし手にする機会がありましたらご覧になってください。下記に掲載記事を抜粋しています。

## 地域での持続可能な防災・減災に取り組む

大内 幸子さん 仙台市地域防災リーダー

世界の国々で起きている地しんや大雨などの自然災害の約1割が日本で起きていると言われています。

みなさんは災害に備えるためにどんなことをしていますか？登下校のとちゅうや公園で友達とあそんでいるときだったら？ふだんから家族で話し合う事が大事ですね。避難所はどこか、連絡方法や集合場所を決めておくといですね。

わたしは仙台市地域防災リーダー(SBL)として、災害が起きたとき住民の避難誘導や、避難所(学校)で避難所運営をします。そのためにはわたしたちもふだんから備えや訓練をして準備をしています。

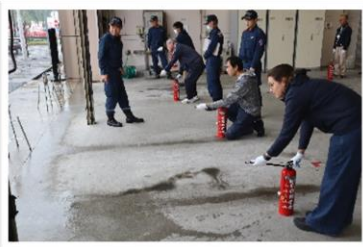
みんなといっしょに『防災まち歩き』をして地域の危険な場所や備ちく倉庫の確認マップも作成しています。地域の人達と子ども達が楽しく参加出来るように防災訓練の企画もしています。

大人も子どもも、みんなとふだんからコミュニケーションをとることが災害時の助けにつながります。

いつでもどこでも起こりうる災害に備えて、自分の命と、大切な家族を守るためにも、できることからやってみよう！



# 「SBL全講習会終了のお知らせ」



今年度のSBL「**新規養成講習会**」と「**全市・各区バックアップ講習会**」を終了しました。

「新規養成講習会」では、各区連合町内会長協議会の推薦と一般公募を合わせたSBL**112名**と、学生SBL**11名**が新たに誕生しました。今年度は、小学校の児童の保護者や在留外国人、大学生など、さまざまな方々が参加し、SBLの多様性がより一層広がりました。受講中は熱心に講義を聞いた上で、グループワークでは地域の課題について積極的に意見を交換するなど、これから地域防災を担うという強い意識が、ひしひしと伝わる講習会となりました。

また、「全市・各区バックアップ講習会」は、現役SBLの地域課題の解決や今後必要とされる視点を得る機会となりました。全市バックアップ講習会では、能登半島地震に派遣された仙台市の保健師が「**災害時の保健活動**」の講義を行いました。各区バックアップ講習会では、若林区障害者福祉センターの鈴木所長をお招きし、「**障害のある方々への災害支援**」の講義を行いました。両バックアップ講習会を通して、**配慮が必要な方々に対して、どのようにアプローチし、サポートしていくか**というテーマについて、実践的な知識を深めることができたと考えております。

## 「仙台防災未来フォーラム 2025」

東日本大震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、発表やブース展示、体験型プログラムなどを通じて市民のみなさまが防災を学び、日頃の活動を発信できるイベントです。

テーマは、「**一人ひとりが主役 ともに創ろう防災の輪**」。震災や復興のほか、気候変動をはじめとした環境問題や風水害など様々なテーマから「防災」について知る・考えるプログラムです。地域防災に取り組んでいる団体も多数出展します。ぜひご来場ください！

★日時：2025年3月8日(土)9:30～16:30

★会場：仙台国際センター展示棟ほか

## 「せんだい防災のひろば」を開催しました

防災について楽しく学べるイベント「**せんだい防災のひろば 2024in スリーエム仙台市科学館**」を開催し、多くの市民の皆さまにご来場いただきました。

★日時：2024年9月8日(日)9:00～16:00

★会場：スリーエム仙台市科学館

★内容：はたらく車の展示、高所作業車の搭乗体験

せんだい災害VR・防災ランタン作り体験

防災・減災に関する各種体験・展示、スタンプラリー



はたらく車の展示(左)



防災ランタン作り(右)

光っているのは手作りランタン

### お知らせ

## 「せんだい災害VR」の申し込みが楽に!!

災害を自分事と捉えながら、日頃の備えや適切な避難行動の大切さを学ぶことができる「**せんだい災害VR**」の電話予約受付期間を拡充し、利用日の**150日前から21日前まで**としました。電話予約は、**月曜日～金曜日**に受け付けています。町内会の防災訓練に是非ご活用ください。

受付電話番号 022-347-3153(平日9時～16時30分)



### 編集後記

地震保険の都道府県別付帯率(2022年度)が発表されています。宮城県は地震保険付帯率が89%(全国トップ)、全国平均は69%でした。地震保険は単体では加入できず、火災保険とセットの加入が必要となるので付帯率として発表されています。付帯率が高い県は過去に大きな地震被害の発生や、大きな地震の発生する恐れのある県でした。地震に対する危機意識が数値に表れているようです。

今年こそ無災害でありますよう願っております。

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 仙台市役所本庁舎2階 仙台市危機管理局減災推進課

TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Eメールアドレス : kks000130@city.sendai.jp

皆さんの掲載したい情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください!! 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしております!!